

国際交流ニュースレター

2012.4~2013.3

Sapporo Medical University

International Medical Exchange Newsletter
by Department of International Affairs and Medical Exchanges

■語学研修

本学の交流協定大学であるアルバータ大学(カナダ)語学研修に、8名(医学部7名、保健医療学部1名)の学生が参加しました。

研修期間中、同大の語学研修プログラムやホームステイを通し、語学力を向上させるとともに、実際に小児医療やリハビリテーション施設などの病院見学を行い、カナダの医療システムについても学びました。

・派遣期間: 8月5日(日)~8月26日(日)

・研修期間: 8月7日(火)~8月24日(金)



■学生交流(臨床実習)

本学では、2009年から中国医科大学(瀋陽市)、2011年から韓国カトリック大学(ソウル市)と協定を締結し、学生交流(臨床実習)を行っています。

この交流事業は、アジアで医学を学ぶ学生が共に臨床実習を行うことで、国際的な視野を身につけるとともに、専門的な知識を習得することを目指しています。

(1)中国医科大学からの学生受入

中国医科大学医学部第5学年 謝欣さんと趙夢楠さんが来学しました。

日本の医療に興味を持ち本学に来学された二人は、次のとおり臨床実習を行いました。

- ・1月28日(月)～2月1日(金): 医学部産婦人科学講座(謝さん・趙さん)
- ・2月 4日(月)～2月8日(金): 医学部救急医学講座(謝さん・趙さん)



(2)韓国カトリック大学への学生派遣

本学医学部第5学年 大柴麻奈さんと長井悠さんを派遣しました。

韓国の医療現場の実習に興味を持ち、また、臨床医学を英語で学びたいという二人は、韓国カトリック大学で次のとおり臨床実習を行いました。

- ・11月 5日(月)～11月16日(金):放射線科(大柴さん)、循環器内科(長井さん)
- ・11月19日(月)～11月30日(金):形成外科(大柴さん)、外科(長井さん)



(3) 韓国カトリック大学からの学生受入

韓国カトリック大学医学部第6学年、Song Kyung-han(ソン キョハン)さんとHan Tae-sun(ハン テソン)さんが来学しました。

日本の医療に興味を持ち本学に来学された二人は、次のとおり臨床実習を行いました。

- ・3月 4日(月)～3月 8日(金)、3月25日(月)～3月29日(金): 医学部内科学第二講座(Sonさん・Hanさん)
- ・3月11日(月)～3月22日(金): 医学部内科学第三講座(Sonさん・Hanさん)

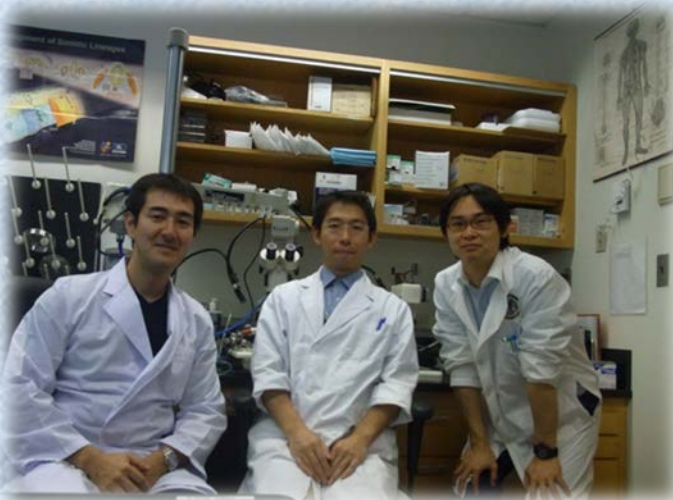


■大学院生・研究生・研究医の短期留学

国際水準の研究者を育成することにより、本学の研究及び教育水準の向上を目的として、本学の大学院生、研究生及び研究医を対象に、海外の大学で行う短期留学(研修)に対する助成事業を平成20年度から実施しています。

平成24年度は、泌尿器科学講座 大学院生 高柳明夫医師がアメリカのエール大学で、自身が取り組んでいる「骨髄幹細胞を用いた神経再生」などを中心に研修を行いました。

- ・11月4日(日)～12月4日(火): エール大学



■教員・研究者の医学交流

本学は、パウロ財団(フィンランド)、アルバータ大学(カナダ)、中国医科大学、マサチューセッツ州立大学(アメリカ)、佳木斯大学(中国)と研究者の交流協定を締結しており、これら海外の大学間と、研究者の相互交流を行っています。

平成24年度は3大学に4名を派遣し、また、2大学から2名の交流研究者が来学されました。

(1)派遣

- ①佳木斯大学康复医学院
 - ・交流研究者:保健医療学部理学療法学科 乾 公美 教授
 - ・交流期間:8月23日(木)～8月31日(金)
- ②アルバータ大学リハビリテーション医学部
 - ・交流研究者:保健医療学部理学療法学科 片寄正樹 教授
 - ・交流期間:9月13日(木)～9月27日(木)
- ③パウロ財団(ヘルシンキ大学)
 - ・交流研究者:医学部神経科学講座 矢澤省吾 講師
 - ・交流期間:9月29日(土)～12月1日(土)
- ④アルバータ大学医学・歯学部
 - ・交流研究者:医学部泌尿器科学講座 田中俊明 助教
 - ・交流期間:2月3日(日)～2月17日(日)



(2) 受入

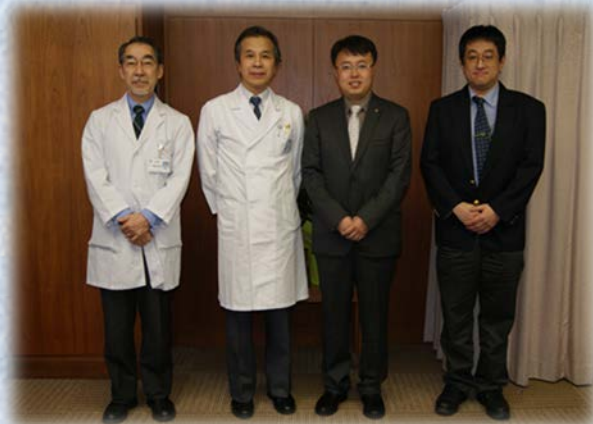
本学における教育・研究の発展を図るため、来学された交流研究者を講師とする「国際医学交流セミナー(以下「セミナー」といいます。)」を実施しています。

① パウロ財団

- ・交流研究者: イースタンフィンランド大学 Juhana Martinpoika Hakumaki (ユハナ ハクマキー) 准教授
- ・受入先: 医学部放射線診断学講座
- ・交流期間: 10月7日(日)~11月6日(火)
- ・セミナー: 脳腫瘍におけるMRIとMRスペクトロスコピー~神経解剖を超えて~(10月25日(木)開催)

② 中国医科大学

- ・交流研究者: 中国医科大学第一附属病院救急医学 馬 涛(マ タオ) 医師
- ・受入先: 医学部救急医学講座
- ・交流期間: 1月13日(日)~1月27日(日)
- ・セミナー: 中国医科大学における救急医療の現状(1月23日(月)開催)



■ 日系研修員事業

中南米日系人に対する理学療法の習得及び中南米日系人作業療法士に対する教育や臨床の機会を提供するため、本学では平成19年度からJICAの委託を受け、これまで3名の研修員を受け入れています。

平成24年度においては、JICA日系研修員として(財)海外日系人協会の委託を受け、河野マルシアさん(ブラジル)を医学部病理学第一講座で9月25日から11月9日までの3ヶ月間受け入れ、「がんワクチンに関する研究」を行いました。

■仏語圏アフリカ 母子保健研修

本学ではJICAの委託を受け、地域別研修「仏語圏アフリカ 母子保健」コースを実施しており、平成24年度で6年目となります。

本研修では、アフリカ地域住民の健康ニーズに対応した母子保健医療サービスの提供を目指し、研修員の所属する機関における人材育成のための教育・研修の充実を図ることを目的に、札幌近郊ばかりでなく中標津町や別海町において、母子保健関係の医療機関、大学及び行政機関等で我が国の母子保健の実態と人材育成について研修を行いました。

・研修期間：10月1日(月)～11月9日(金)

・参加国：仏語圏アフリカ6カ国：9名(ベナン、ブルキナファソ、コートジボワール、コンゴ民主共和国、ニジェール、セネガル)



■ロシアサハリン州からの研修

ロシア連邦サハリン州立病院 クリューコフ医師が公益信託北海道・ロシア極東医療交流基金サハリン州医師研修事業により、本学附属病院で研修を行いました。

公益信託北海道・ロシア極東医療交流基金(コースチャ基金)は、平成2年にサハリン州から火傷を負ったコンスタンチン君を本学附属病院に緊急搬送し、治療を行った際の義援金について、「北海道とサハリン州との医療交流に役立ててほしい」という両親の申し出により創設され、運用されているものです。

平成4年度からスタートした本事業による研修受入は、18回目を迎えています。

・研修日程：10月29日(月)～11月9日(金)

・受入先：医学部整形外科学講座(熱傷に関する研修については、救急医学講座と形成外科で随時対応)



■ 報告会

本学では、国際医学交流事業(旧:北方医学交流事業)をはじめとする交流事業を展開しておりますが、本学から海外の大学へ派遣した方々の交流・研究成果を広く共有し、本学の教育・研究の発展に役立てるため、例年、国際交流活動報告会を開催しています。

平成24年度は、学長をはじめ約50名の学生・教員が参加しました。

・日時:1月23日(水)

・場所:北第1講義室

・報告:国際医学交流事業(ヘルシンキ大学、オウル大学)
(中国医科大学)

丹野克俊講師

中田健生助教

派遣学生

派遣学生

高柳明夫医師

須貝よし乃助教

矢澤省吾講師

片寄正樹教授

乾 公美教授

アルバータ大学語学研修

韓国カトリック大学臨床実習派遣事業

札幌医科大学短期留学助成事業(エール大学)

(トゥルク大学ほか)

国際医学交流事業(ヘルシンキ大学)

(アルバータ大学)

(佳木斯大学)



発行:平成25年10月

編集:札幌医科大学国際交流部(事務局経営企画課 主査(国際・学術交流))

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目

電話:011-611-2111(内線2166)

FAX:011-611-2237